

様式第1号（第5条関係）

会議概要

会議の名称	平成27年度第1回久喜市社会教育委員会議
開催年月日	平成27年6月26日（金）
開始・終了時刻	午後1時30分から午後3時40分まで
開催場所	菖蒲総合支所 第1集会室
議長氏名	倉持良幸（久喜市社会教育委員長）
出席委員（者）氏名	金子雄司、川島孝、木村孝夫、木村善二、久保たち子 倉持良幸、後藤悦子、塩崎勲、杉田栄子、斎藤駿、 鈴木多美子、武井宣明、田邊喜代子、青木一弥、長島一枝、 野口和子、古谷郁男、丸山洋一
欠席委員（者）氏名	新井英之、富田伯枝
事務局職員職氏名	柿沼教育長、関根教育部長、宮内参事兼生涯学習課長、朝武 生涯学習課長補佐、大野課長補佐兼人権教育係長、飯塚文化 振興係長、樋浦スポーツ振興係長、堤生涯学習係長、岩井主 査、奥谷参事兼中央公民館長、山木南公民館長、小林東公民 館長、森田森下公民館長、蓮見栗橋公民館長、清水鷺宮公民 館長、太田中央図書館長、堀内文化財保護課長
会議次第	（1）平成26年度生涯学習関係事業実施報告について
配布資料	平成26年度生涯学習関係事業実施報告
会議の公開又は非公開	公開
傍聴人数	0人

様式第2号（第5条関係）

審議会等会議録

発言者	会議のてん末概要
司会 堤生涯学習係長	<p><開会></p> <p>皆さん、こんにちは。定刻になりましたので、ただ今から、平成27年度第1回久喜市社会教育委員会議を開催させていただきます。本日はご多用の中、ご出席をいただきまして大変ありがとうございます。本日の司会を務めさせていただきます、生涯学習課の堤と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。本日の欠席者でございますが、新井委員、富田委員は所要のため、欠席する旨の連絡をいただいておりまして。出席者が定員の3分の2以上ございますので、本会議を進めさせていただきます。本日の資料は、委員に皆様には、事前に郵送させていただいております平成26年度生涯学習関係事業実施報告でございますが、お持ちいただいておりますでしょうか。それと本日の会議の次第、委員名簿と併せて、A4サイズの追加資料ということで、中央公民館の公民館連絡協議会の資料が1部、上げさせておりますのでご確認いただきたいと思います。それ以外の参考資料といたしまして、「深沢七郎とラブミー農場」と「私の実践 エコライフへの取り組み」、「久喜市の社会人権教育」、「平成27年度第1回社会教育3団体合同研修会報告書」と「平成26年度埼玉県市町村社会教育委員連絡協議会研修収録」がございます。お手元にございますでしょうか。今年度入りまして、新しく社会教育委員が変わりました。社会教育委員としてご活躍いただきました、坪井文夫委員が今年の3月31日をもって校長職を退職されまして、現在は、生涯学習課の社会教育指導員としてお勤めいただいておりますが、その後任といたしまして、校長会から選出いただきました青木一弥委員でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは、改めて、社会教育委員の趣旨についてご説明したいと思います。社会教育委員は、社会教育行政に広く、各方面のご意見と経験を反映させることを目的とし、また、社会教育活動が円滑に進められるために、重要な役割を担っています。社会教育委員の職務は、社会教育法第17条に基づきまして、社会教育に関する諸計画の立案、教育委員会の諮問に応じて意見を述べること、さらにそのために必要な研究・調査を行うこと、などです。本日の会議は、「久喜市審議会等の会議の公開に関する条例」により、原則公開とさせていただきます。また、会議録を作成し、市のホームページで公開となりますので、よろしくお願ひします。式次第に従いまして、進めさせていただきます。</p> <p>それでははじめに、倉持委員長よりご挨拶をいただきたいと思います。</p>
倉持委員長	<あいさつ>
司会 堤生涯学習係長	続きまして、柿沼教育長より挨拶を申し上げます。
柿沼教育長	<あいさつ>

司会 堤生涯学習係長	<p>ありがとうございました。それでは、議題の3に入る前に、平成27年度の人事異動に伴いまして、教育委員会におきましても、職員の異動がございましたので、紹介させていただきます。教育部長の関根武視部長です。生涯学習課長の宮内敦夫課長です。また、それ以外の職員も異動がございましたが、このあと、各所属において、事業報告をさせていただくときに併せて紹介いたします。それでは、柿沼教育長、関根部長につきましては、このあとの公務がございますので、ここで退席させていただきたいと存じますので、よろしくお願ひいたします。それでは次第の3ですが、議事の進行につきましては、社会教育委員に関する規則第3条第3項の規定によりまして、倉持委員長に議長をお願いしたいと思います。よろしくお願ひします。</p>
倉持委員長	<p>それでは、規定によりまして、務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願ひします。本日の議題にあります平成26年度の生涯学習関係事業実施報告について、4つの課において報告をいただきます。まず最初に生涯学習課からご説明をお願いいたします。</p>
堤生涯学習係長	<p>それでは、事前に資料を配布しておりますので、こちらの資料を基に説明をさせていただきます。平成26年度の生涯学習関係事業実施報告の1ページ目をお開きください。資料は事前にお配りしておりますので主要な事業の報告とさせていただきますので、よろしくお願ひします。</p> <p>まず、1番の放課後こども教室事業でございます。26年度は、小学校23校中、新規3校を含めて22校が開校いたしました。開催した講座回数は、340講座（314講座、26増）、参加児童数は2,742人、実施委員、サポート合わせて2,552人でございます。27年度は、6月22日に栗橋西小学校のしづかっ子元気が開校しましたので、市内小学校、すべて開校いたしました。続きまして、4番の家庭教育学級事業です。小中学校PTAや幼稚園、保育園の保護者会を通じて、家庭教育学級を実施していただき、家庭における子育てに関する問題等を解決するため、講座や交流事業を通じて保護者同士の話し合いや情報交換できる場を提供するものです。1学級につき補助率1／2として、上限として30,000円を補助金の交付をいたします。26年度は20団体が実施しましたが、27年度では、26団体実施する見込みです。続きまして、2ページをお開きください。11番の生涯学習出前講座です。平成24年度に講座の更新を行いました出前講座のメニュー数は、59講座メニューございまして、市民の方からは「介護保険のしくみ」や「正しく知ろう認知症」、「防災あれこれ」、「ニュースポーツ講座」などが人気の講座となっております。28年度のリニューアルに向けて、今年度、準備を進めているところでございます。続きまして、3ページをお開きください。13番の子ども大学くきです。東京理科大学久喜キャンパスを会場とし、「理科を楽しく」をテーマにした講義や空気をテーマにしたものづくり実習、環境をテーマにしたエコバックの作製など9月から11月のうち4日間、実施しました。定員100人で99人の申込みがあり、参加した子どもたちからは「楽しく学習できた」、「新しい友達ができてよかったです」、「来年も参加したい」との声をいただいております。今年度は、同じく東京理科大学久喜キャンパスを会場とし、3日間予定しております、数学・算数をテーマに秋山仁先生の講義や宇宙をテーマにジャクサの久喜市在住の木場田先生を講師として実施する予定です。生涯学習係は以上です。</p>

大野課長補佐兼人権教育係長	<p>続きまして人権教育係の大野と申します。3ページの14番、人権教育推進事業としまして、集会所等事業を通じて、地域住民の交流を促進し、差別のない明るい社会を目指すことを趣旨にして、活動しております。主な内容は、集会所事業の野久喜集会所、内下集会所、しょうぶ会館でございます。野久喜集会所につきましては、算数教室や健康体操教室など、合計146回、参加者1,555名ございました。内下集会所につきましては、夏休み仲良しクラブ等、合計23回、375人の参加でございました。しょうぶ会館につきましては、ふれあい教室、夏休み子ども学習会など合計90回、958名の参加でございました。続きまして、4ページでございます。事業名は同じく人権教育推進事業になります。趣旨としましては、PTA関係者の他、広く一般の人権教育・啓発活動を推進し、人権意識の高揚を図るとともに、人権について正しい理解を深め、人権を尊重する重要性、課題について自ら学び、行動できる人を育むことを目的としております。主な内容でございますが、PTA人権教育研修会を年4回開催させていただきました。併せて、社会人権教育指導者養成講座を1回開催いたしました。参加者等につきましては、第1回が講師、杉尾秀哉先生をお迎えしまして、235人の出席でございます。第2回目が小林徹先生をお招きいたしまして、202人の参加でございます。第3回目が志茂田景樹先生をお招きいたしまして、269人でございます。第4回目がNPO法人エンパワメントかながわさん、こちらをお招きしまして、66人の参加でございます。社会人権教育指導者養成講座につきましては、水島輝彦先生をお招きしまして、315人の参加でございます。続きまして、16番の同じく人権推進事業でございます。</p> <p>市で開催した人権研修会や集会所施設で行った各事業について、その記録を残すとともに、冊子を配布することにより参加できなかつた方々にも啓発を行う事業でございます。この事業につきましては、お手元にお配りしました市の社会人権教育がその冊子でございます。後程、ご一読いただければと思います。今、ご説明申し上げましたPTA人権教育研修会、社会人権教育指導者養成講座、野久喜集会所、内下集会所、しょうぶ会館の事業について、載せてございます。この冊子につきましては、2,000部作成しまして、PTAをはじめ、関係機関に配布させていただきました。以上でございます。</p>
飯塚文化振興係長	<p>続きまして、文化振興係の飯塚でございます。資料の5ページ、17番から7ページの25番までの9事業につきましてご説明申し上げます。</p> <p>全体的には、各事業とも内容や参加者、また入場者等、これまでと大きく変動したところはなく、すべての事業を順調に開催することができました。文化活動をされている皆様には、発表の機会を。また、市民の皆様には鑑賞と文化に触れる機会を設けることによりまして、久喜市の文化振興の推進を普段から図れたものと考えております。続きまして、個々の事業の中で課題や懸案があるもの、若しくは内容等の変更によりまして、委員の皆様方にご報告申し上げたいところにつきまして、ご説明したいと思います。5ページの17番、久喜市美術展でございます。</p> <p>美術展は、1部が絵画、2部が書、そして3部が写真ということで、3部構成で毎年実施しております。名称が現在は久喜市美術展となっておりますが、内容的には、合併までが事実上、久喜地区の文化団体連合会の文化祭として実施したものでございます。現在は、参加者の対象を広く一般市民にも広げ、久喜市美術展として開催しているところでございます。懸案事項でございますが、年々、一般の方からの参加者も多くな</p>

	<p>ておりますが、平成 26 年度の出品数を見てみると、17 番の「絵画」ですが、出品数が 111 点となっておりますが、うち一般の方からの出展数は、52 点でございます。続きまして、18 番の「書」につきましては、182 点中、一般の方からは 3 点でございます。続いて、6 ページの 23 番の「写真」につきましては、136 点中、一般の方からは 10 点でございます。指導者等の関係もあると思われますが、まだまだ一般の方からの出品が少ない状況でございます。今後はさらに、一般の方がもっと自由に参加できるようにしてまいりたいと考えております。続きまして 22 番、埼玉県芸術文化祭「吹奏楽フェスティバル」についてでございます。こちらは埼玉県芸術文化祭の参加事業として平成 2 年から実施しております、今や久喜市のみならず県内の吹奏楽愛好者の皆様から高い評価をいただいている事業でございます。事業の予算でございますが、埼玉県の事業ということで平成 23 年度までは、県から負担金が交付されていたところですが、平成 24 年度以降は負担金が 0 となりまして、現在は、100% 久喜市の持ち出しとなっております。その市の補助金なんですが、平成 25 年度から 105 万円、平成 26 年度が 102 万円、平成 27 年度は 100 万円に減額されたところです。この予算の使途ですが、会場費をはじめ、出演される学校さんの楽器運搬費、プログラムの印刷製本費等になっておりますが、参加される学校さんには、経費の負担は、かけたくない方針で歳出予算を組んでおります。今後も補助金の減額が続くようであれば、プログラムやチラシ、ポスター等を更にコストダウンを図りまして、学校さんに参加しやすい環境を優先的に考えてまいりたいと思います。最後になりますが、24 番の埼玉県美術展覧会久喜市入選作品展についてでございます。こちらは、埼玉県美術展覧会で入選以上となりました市民の方の作品を地元で再展示するという事業でございます。すばらしい芸術作品を近くで鑑賞できるということで、毎年問い合わせも多く、楽しみにしている方が大変多いですが、実は、実施時期を 8 月の第一週ということで、夏真っ盛りの時期ということから関係者や出品される皆様からも開催時期を変更してほしいという声が多く聞かれました。そこで平成 26 年度は 11 月下旬に開催時期を変更しましたところ、入場者数が平成 25 年度の 272 人から平成 26 年度 726 人と大幅に伸びたところでございます。従いまして、平成 27 年度以降も 11 月下旬ということで開催を考えております。文化振興係からは以上でございます。</p>
樋浦スポーツ振興係長	<p>それではスポーツ振興係についてご説明させていただきます。スポーツ振興係の樋浦と申します。よろしくお願ひいたします。ページにつきましては、7 ページ 26 番から 8 ページ 32 番まででございます。まず、26 番の事業につきまして、久喜市綱引き大会でございます。内容といたしましては、綱引き大会を総合体育館第 1 体育館の方で毎年度、実施しております。この事業は大会を通じて、市民の健康増進と市民の皆様の交流の促進が図れているものと考えております。参加者数につきましては、昨年度が 980 人、107 チームということで、前年度と比べて若干ではございますが、増やすことができました。続きまして 28 番の学校施設開放事業でございます。この事業につきましては、学校教育に支障のない範囲で小中学校の体育施設を開放いたしまして、市民の皆様のスポーツ・レクリエーション活動の場として、ご利用いただいているものでございます。開放している場所につきましては、市内小中学校 34 校すべてでございます。ご利用いただいている人数につきましては、屋内運</p>

	<p>動場につきましては、約12万1千人です。外の校庭につきましては、約7万3千人ご利用いただきました。但し、昨年度は、学校の耐震化工事等の関係がございまして、若干利用人数が前年度に比べまして、下がってきているんですが、理由が耐震化に伴うことですので、引き続き、今年度もご利用方を促していきたいと思っております。この事業の課題というわけではないのですが、施設が多く、各学校施設の老朽化等がございますので、例えば、電球が切れたとか、バスケットボールチェーンの動きが悪いなど、利用者が増えていく中で施設の整備等が今後、増えてくるのではないかと考えております。続きまして、8ページ30番の夏期巡回ラジオ体操会でございます。こちらの事業につきましては、昨年、合併5周年記念事業といたしまして、新市の更なる一体感を醸成するとともに、合併5周年を記念する事業としまして、実施をしたところです。内容につきましては、かんぽ生命、NHK、全国ラジオ体操会連盟等とともに、早朝ではございましたが、ラジオ体操会が実施できました。会場につきましては、総合運動公園多目的広場ということで、当日、天候は非常に不安定だったんですが、2,096人の当日参加をいただきました。昨年度は、合併5周年ということで実施したんですが、今後、機会がございましたら、様々なスポーツイベント、市民の皆様が参加できるイベントを実施していきたいと考えております。最後に32番の各種スポーツ・レクリエーションですが、市民の皆様に気軽にスポーツ・レクリエーションに参加していただき、何かしら、ご自身の活動のきっかけとすることを目的といたしまして、スポーツ推進委員によります各種スポーツ教室を実施いたしました。主なものといたしまして、4月26日にノルディックウォーキング教室を鷺宮コミュニティ広場からはなさき水上公園まで往復しました。当日の参加は21人でございます。5月18日、ハイキングということで、太平山のハイキングを実施いたしました。参加者は29人でございます。11月15日、グラウンドゴルフ教室ということで、鷺宮の自由広場で実施いたしました。参加者は10人でございます。いずれの事業にても、参加者からはご好評をいただいているところなんですが、参加者数がなかなか増えているかいないということが、課題という認識はしております。今後、参加者数が減らない形での呼びかけ等を考えていきたいと思います。スポーツ振興係からは以上です。</p>
倉持委員長	ありがとうございました。生涯学習課関連の32事業の報告をいただきましたけれども、何かご質問等ございますでしょうか。いかがでしょうか。
金子委員	質問ではなくて、お礼なんですが、2ページの9番と10番ですが、まなびすとフォーラム、まなびすと久喜につきましては、社会教育委員の皆様、お手伝いまたはご支援いただきまして、御礼申し上げます。おかげさまで、今年度も6月13日のまなびすとフォーラムが盛会裏に終了することができました。参加者は217名の参加がございました。来年度は、栗橋地区が会場となります。まなびすと久喜につきましては、今年度は菖蒲文化会館アミーゴが会場となりますので、お手伝い等よろしくお願いします。以上です。
倉持委員長	ありがとうございました。私もまなびすとフォーラムに行きましたけど、大変多くの人が参加して、かなりの意見が出ておりました。是非、あの意見を27年度と言わず28年度に向けた事業の中でいかしていただきたいと思っております。

斎藤委員	生涯学習係の11番ですが、市民の方が出前講座の59の中から選べるということで、実際には52の講座しかなかったということですが、残りの7講座につきましては、どういう理由で実施しなかったのかお聞きしたいのですが。
堤生涯学習係長	2ページに掲載しております11番の出前講座ですが、52回は全体59講座ある中で、資料にもあります人気講座のメニューのところで、介護保険のしくみの講座については16回実施がございました。あくまでも1講座に対しまして1回の実施ではなくて、59講座メニューあるうちのトータル52件の依頼実施がありましたという表記でございます。
倉持委員長	メニューが59講座ございましたが、依頼する方が52回あったということですね。よろしいですか。
鈴木委員	それに関連しまして、申込みが10名以上となっておりまして、講座を申請するには10以上が集まつたらというのは、もうちょっとハードルを下げる、5名以上くらいにすることは厳しいですか。そうすれば、もうちょっと開かれる事業になるのかなと思いますが。以上です。
堤生涯学習係長	先程の説明の中で、講座のリニューアルを28年度に検討しております、今年度の来月くらいには、各部署にいろいろ照会をかけて、全体的な見直しを含めて動きたいと思っております。鈴木委員さんの方からお話をありました人数については、参加人数での制限についての意見が外から無いものですから、今日いただきました意見をもとに、10人から5人に下げるかということも調整をさせていただいて、検討していくたいと思いますのでよろしくお願いします。
木村孝夫委員	細かいことなんですが、訂正をお願いしたいと思うのですが、19番の鷺宮の文化祭ですけど、舞踊とか神楽とか手品とかありますけど、私は神楽に関わっているのですけど、昨年、26年度はやっておりませんので、削除をお願いしたい、訂正をお願いしたいのですが。もうひとつ、先程、金子委員が言いましたけど、社教3団体の件でご協力ありがとうございますと言われておりますが、私は、頭にひっかかるんです。何故かというと、こういうものは常に同じレベルでやっていくべきではないかと思うんですが、一緒にやっていく意識を持つような形で今後、お願いしたいと思います。
倉持委員長	今のご意見ですけれども、中々、社教3団体の研修もやっておりますので、そういう研修を積み重ねながら3団体で、それぞれの委員さんが、「まなびす久喜」にしても、「まなびすとフォーラム」にしても、お互いに協力し合うようなシステムが必要かなと私も感じております。私も毎回参加しておりますけれど、参加する立場が若干違いますけど、今後は、そんな中で、いかせていけたらと思っております。他にご意見ございますでしょうか。
長島委員	32番の各種スポーツ教室なんですが、ひとつのスポーツ教室を開催するのは本当に大変だと思います。グラウンドゴルフ教室は、何人、募集で10人の申込みだったんでしょうか。グラウンドゴルフはすごく人気があるのに、地域で行っているのは、人が集まりすぎて困るという声もお聞きしますが、なんで10人だったのでしょうか。
樫浦スポーツ振興係長	この教室の定数は20人でしたが、同日にグラウンドゴルフ連盟の大会がありまして、重複した関係で参加申込者が少なかったと思います。
長島委員	そういうのって調整は無理なんですか。1年間の予定は、わかっているのではないですか。

樺浦スポーツ振興係長	すみません、把握しておりませんでした。
倉持委員長	グラウンドゴルフ連盟は、体育協会に加盟しておりますから、体育協会を通じて、情報は入ると思いますので、是非日程を調整してほしいと思います。
塩崎委員	3ページの子ども大学について、8ページのラジオ体操について、先にこの件をお聞きします。子ども大学は、今年何とかできるということですが、この後は、どう考えておりますか。
朝武生涯学習課長補佐	来年度以降につきまして、東京理科大学と調整しております、将来的に教育委員会としては、今後も続けていきたい。但し、久喜キャンパスが無くなってしまいますので、中央公民館ですとか、市内の公共施設を会場にしまして、子ども大学を開催していくことと同時に、今後も子ども大学にご協力いただける意向も確認しております。今後の実施については、理科大の先生に久喜市に来ていただくか、久喜の子どもたちを東京理科大学の例えば神楽坂キャンパスに連れていき、講座を行うことも伝えております。
塩崎委員	ラジオ体操は、昨年は合併5周年ということで実施しましたが、これで終わりということですか。この後は考えていませんか。
樺浦スポーツ振興係長	ラジオ体操、そのものは、合併5周年事業ということで、単年度事業ということで終了となります。
塩崎委員	千住は、毎年やっているんですよ。ひとつのラジオ体操のまちということで、定着しているんですよ。そこまでやれとは言いませんけど、先日、総合体育館でやりました。1年おきぐらいで、地域をぐるっと回るのも考えいいんじゃないかなと思うのですが。それと最後にもうひとつ、家庭教育学級なんですが、とても大事なことですが、現在、経過はどうですか。
朝武生涯学習課長補佐	資料にもありますように、家庭教育を実施していただいているところ、実施内容も様々でして、保護者の方々が、ヨガ教室を実施しているところがあったり、給食試食会を家庭教育学級とし、「食」や「栄養」について、学んだりというようなことで、成果の報告をいただいているところです。市からの補助金を受けて実施しているところが、少なくならないように、どこの学校も家庭教育学級という名を打って実施しているところもありますが、市の補助金を活用してやっていただきたいと考えております。
塩崎委員	職員は、現場へ足を運んでいますか。
朝武生涯学習課長補佐	現場には行っておりません。
古谷委員	7ページの29番、久喜マラソン大会について、前回の会議の時にも投げかけたのですが、資料の内容の中に、各種調査、課題抽出業務を委託したとあるのですが、どの業者にされたのかと、成果のところで課題等が把握することができたとありますがどのような課題があったのか教えていただきたいと思います。
樺浦スポーツ振興係長	まずは、委託先につきましては、上尾に本社がございます株式会社テクノプランにマラソン大会の計測等を専門に行っている業者でございます。その業者に課題抽出ということでお願いしました。成果としましては、課題の把握ができましたということで、具体的に申し上げますと、他市の事例で、マラソン大会をやれば、イメージとしてスタートからゴ

	<p>ール、そして給水を設けるなどテレビ等でも見てわかりますが、実際に業務として、どのような業務あるのか、人をどのように配置するのかという具体的な他の大会の事例の資料等を詳細な形で把握することができました。それと走路に関する注意事項ということで、具体的なコース設定につきまして、設定にあたっては、例えば地図上でコースを書くだけではなくて、ランナーの目線に立ったコースづくりをするかが大切とか、実際に他市に出向きて、コース等のセッティング状況を見たり、担当者から直接聞いたり、自分たちが今後仕事をするにあたって具体的にこのように仕事をしていけばいいのかなど具体像が見えてきましたので、課題が掴めたということで成果があったと認識しております。以上です。</p>
古谷委員	<p>これは意見なんですが、非常に財政が厳しい中で、費用の面ですか、人員ですか、特に役員やボランティアの人数のことと、コースのことを考慮して、他市のマラソンを実施しているところと廃止になったところを研究されたらどうかなと思います。</p> <p>続きまして、31番の日本スポーツマスターズ2014埼玉大会のことなんですが、事業趣旨のところで競技志向の高いシニア世代を対象としたと全国規模で実施されましたが、競技に出ている方が35才、40、45という感じで、成果のところにあるようなこととは、自分が感じていたのと同じ違いましたが、ここでいうシニア世代とは何歳ぐらいの方を指しているのでしょうか。</p>
樺浦スポーツ振興係長	<p>この日本スポーツマスターズにつきましては、まず、大会趣旨のところでシニア世代という言葉を使っているというところがございます。シニアにつきましては、競技ごとに参加する資格の年齢が違っておりますので一概にこの大会についてのシニアの定義するのは難しいですが、一般的には50歳代からという形で伺ってはおります。</p>
古谷委員	<p>今回のこの大会は50代は入っておりませんでしたよね。私の認識では35、40、45では、なかったでしたっけ。</p>
樺浦スポーツ振興係長	50代もその上も入っておりました。
木村孝夫委員	27番の新体力テストですけども、参加の人数が少ないんですけど、P Rとかして、2回ぐらい実施するとか、今後の進め方はいかがですか。
樺浦スポーツ振興係長	新体力テストは、イベントとは違うので、なかなか一般に呼びかけても、楽しむイベントとは違うので、参加率は上がらない状況でございます。今後につきましては、体育協会ですとか、スポーツ少年団の保護者等、積極的に呼びかけるなどして、市民の皆様に幅広く周知していく方向で考えております。
倉持委員長	続きまして、中央公民館の所管の関係について、事務局の方から説明をお願いします。
奥谷中央公民館館長	この4月から中央公民館長兼西公民館長の奥谷と申します。どうぞよろしくお願いいたします。公民館の平成26年度の事業報告につきましては、この後の各公民館長の方から説明させていただきます。まず、最初に私の方から全体的な説明をさせていただきます。公民館事業につきましては、公民館の職員、それから公民館の運営委員さんを踏まえて事業の企画、立案し運営しているところでございまして、平成26年度につきましては、公民館連絡協議会事業も含めて全体で105事業を実施したところでございます。こちらにつきましては、公民館の運営委員さんと協

	<p>議し、それぞれの事業について担当の運営委員さんを決め、職員を含めて事業運営に当たったところでございます。また、公民館の利用状況でございますが、8館全体で26,524団体、375,884人の利用をいただきました。また、部屋の利用率につきましては、37.0%というような状況になってございます。続きまして、それぞれの事業につきまして、まずは私の方から中央公民館について簡単に報告させていただきます。資料につきましては、9ページから11ページでございます。中央公民館では、平成26年度、新規事業6事業、継続事業9事業、全部で15事業実施いたしました。10ページの8番、天体観望から12番、陶芸教室及び15番の防災に関する事業が新規事業となってございます。継続事業も含めまして各事業ともおおむね目的を達成したんじゃないかと考えてございます。特に15番の防災に関する事業につきましては、中央地区の各行政区あるいは、婦人会、その地域を代表する団体等のご協力をいただきまして、201名の方のご参加をいただき、地区における防災に関する学習が図られたものと考えております。本事業の一環として第3回国連防災世界会議の関連事業である第5回防災コンテストに防災ラジオ部門がございまして、応募したところ優秀賞を受賞したということで、皆様もご存知かと思います。中央公民館につきましては以上でございます。</p>
小林東公民館長	<p>続きまして、青葉公民館事業でございます。私、東公民館長の小林と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。青葉公民館事業につきましては、青葉公民館長が本日、所用のため、不在でございますので、私の方から事業報告をさせていただきます。資料の11ページをご覧ください。16番からになりますが平成26年度青葉公民館事業といたしましては、新規事業4事業、継続事業6事業、合計10事業実施しております。新規事業と主な事業につきまして、ご報告いたします。初めに17番の篆刻教室でございます。内容としましては、中国産の石を使いまして、それに参加者ご自身の名前等を刻みまして、篆刻の基礎を学んでおります。参加者は男性4名、女性6名で延べ38名の方に参加いただきました。次に12ページをご覧ください。19番、文学散歩でございます。内容といたしましては、東京都江東区にございます芭蕉記念館や清澄庭園、深川江戸資料館を見学しております。参加者は男性7名、女性14名計21名でございました。次に新規事業でございますけれど、21番のグラウンドゴルフ教室入門でございます。内容といたしましたは、青葉公園内において、グラウンドゴルフの基礎を体験、学習していただくというもので、2回シリーズで延べ39名の方にご参加いただきました。ここで、資料の訂正をお願いします。成果欄にございます女性14人のところが女性18人の誤りです。大変申し訳ございませんでした。続きまして、4番目の新規事業でございますが23番、紙工作教室でございます。内容につきましては、折り紙を使いまして、かぐや姫、こま、獅子などの作品を作っております。参加者は男性1名、女性16名で、延べ29名でございました。作品は、青葉公民館まつりに展示してございます。次に主な事業でございます。18番の自然と環境でございます。この事業につきましては、今まで越谷のごみ焼却場や行田の浄水場等を視察し、自然と環境について学習してきたところですが、平成26年度は高度浄水処理施設の先端をいく東京都金町浄水場を見学してまいりました。特にオゾン接触池や活性炭接触池の見学会ができ、世界に誇る浄化について、見学することができました。この自然と環境の講座につきましては、平成26年度で終了でございます。次に青葉地区市民体育祭でございます。この事業で</p>

	は、約1,000人の地元の方々に参加していただきました。27年度につきましては、青毛小学校で実施する予定でございます。続きまして25番の青葉公民館まつりでございますが、25団体の参加がございまして、600人近い方のご来場いただきました。青葉公民館事業につきましては以上でございます。
山木南公民館長	南公民館館長の山木でございます。南公民館13ページ、26番から32番までの7事業でございます。新規事業は32番のシニアボウリング教室でございます。主な事業をご説明させていただきます。27番のスマイルボウリング教室ですが、体育館の中で行うボウリングでございますが、読売新聞の埼東よみうりに掲載されて紹介されております。珍しいということがありまして、結構人気があるスポーツでございます。次ページの31番でございます。社会施設探訪でございます。製造工場などの先端技術等を紹介するということで、カルビーの清原工場と日産自動車の栃木工場に行ってまいりました。応募者数が113名ということで抽選の結果、24名としました。だいぶ好評でありました。それと32番シニアボウリングですが、菖蒲のボーリング場を使わせていただきまして、50歳以上ということで初めて行いました。3週にまたがって3回ということで、こちらも好評でございました。また継続して行っていければと思っております。以上でございます。
奥谷中央公民館長	続きまして、西公民館でございます。新規4事業、継続6事業、全10事業を実施いたしました。資料につきましては、14ページの3段目から15ページまでとなってございます。継続事業では、33番のきよく大運動会でございます。こちらは清久小学校の運動会と地区の市民体育祭を合同で開催しているものでございます。多くの地域住民の方々に参加していただいて、児童と地域住民が交流を図り、地域の中で子どもを育てるをスローガンのもと、清久地区のコミュニティが図られたものと考えてございます。なお、こちらは先週だったと思いますが、埼東よみうりの方で大きく取り上げられたということで、非常に清久地区の中で大きな事業ございます。新規事業につきましては、35番のスポーツ吹矢教室、37番、食絵教室、39番、歴史探訪、42番の本格キムチづくりを実施したところでございます。スポーツ吹矢と食絵につきましては、若干、参加者が少ない状況でありましたが、歴史探訪、本格キムチづくりにつきましては、非常に参加者が多く好評でございました。新規、継続併せまして、おおむね、その事業を達成したものと思われます。今後も参加者の等の意見を聞きながら事業については検討を重ねてまいりたいと考えております。西公民館事業につきましては以上でございます。
小林東公民館長	続きまして、東公民館でございます。東公民館長の小林と申します。今年の4月より東公民館長を仰せつかっております。どうぞよろしくお願いします。東公民館に関わる事業につきまして説明させていただきます。16ページをご覧いただきたいと思います。平成26年度東公民館では、新規事業といたしましては4事業、継続事業が5事業、合計9事業を実施しております。新規事業と主な事業につきまして報告させていただきます。まず、43番の文学講座でございます。内容といたしましては、川端康成の名作「伊豆の踊子」を題材にいたしまして、川端康成と羽生市との関わりという新たな視点からこの作品を見つめなおすというものでございました。参加者は男性2名、女性18名、延べ68名の方にご参加いただいております。続きまして44番新規事業の水彩画教室でございます。内容といたしましては、果物や花などを水彩画で描きながら基

	<p>基礎を学んでいるものでございます。参加者は男性7名、女性11名、4回シリーズで延べ59名でございました。次に3番目の新規事業ですが、46番の普通救命教室でございます。内容といたしましては、埼玉東部消防組合職員の方のご指導によりまして緊急時の心臓マッサージや人工呼吸の実技指導をいただきました。参加者19名には、普通救命講習会修了証を交付させていただいております。4番目の新規事業でございますが、50番目のデジカメ教室でございます。内容といたしましては、デジタルカメラによる写真撮影方法を学ぶもので、吉羽公園ですとか吉羽大橋の方に出かけまして写真撮影を行いまして、撮影した作品をもとに、講師の方による批評ですとか、ご指導をいただきました。参加されたのは男性10名、女性9名で、延べ45名でございました。次に主な事業でございます。東公民館まつりでございます。51番になります。この事業は、64団体の参加がございまして、約2,200名の地元の方々にご来場いただいております。なお、東地区市民体育祭でございますが、悪天候により中止とさせていただいております。今年度につきましては、太田小学校で実施する予定でございます。東公民館は以上でございます。</p>
森田森下公民館長	<p>森下公民館長の森田と申します。森下公民館の平成26年度事業につきまして、ご説明させていただきます。資料の17ページの52番ワクワクスクールから19ページの68番ヘルシー料理教室の17事業を実施いたしました。52番のワクワクスクールでございますが、学校週5日制をきっかけに公民館事業として行っております。子ども、小学生を対象に、年6教室を実施しまして、それぞれ人気を博しました。特にイチゴハウスに出かけましてイチゴ狩りをやった後に、公民館に戻ってイチゴのピザを作りました。また、④の館外学習につきましては、県の自然防災センターに行きまして、地震体験、煙体験を通して防災の大切さを学びました。続きまして、18ページの61番押し花教室でございます。この教室では、季節の花を使いまして、花のかけ飾り、コースターなどを作りました。参加者からは大変楽しかったという意見をいただいております。続きまして19ページの63番菖蒲地区体育祭でございます。この事業は、平成26年度から公民館事業ということで移管されまして行っております。10月26日に開催しまして、行政区の参加者でやっております。菖蒲地区34区の行政区でございまして、区対抗種目が6種目、その他12種目、計18種目の競技を実施しました。以上が森下公民館事業でございます。</p>
蓮見栗橋公民館長	<p>栗橋公民館長の蓮見と申します。栗橋公民館事業実施報告について説明させていただきます。栗橋公民館の事業数ですが全部で13事業でございまして、うち新規が6事業、継続が7事業でございます。主な新規事業をご説明させていただきます。初めに20ページの69番、スマートフォンらくらく操作教室でございます。こちらは、定員20名のところ、応募が55名ありまして応募数が多く好評に終わったところでございます。27年度では、午前と午後の2回に分けて、倍の人数を計画してございます。続きまして70番の防災とAED講習でございます。内容につきましては、災害時の安全と安心を確保するために、防災の知識とAEDの操作等について学ぶものでございます。AEDの取り扱い等が習得できまして、好評でありました。続きまして、73番の初めての水彩画教室でございます。こちらは、定員が15名でございましたが、教室に余裕がありましたので応募者全員を参加という形を取りました。続きまして、79番、再発見市内文化財めぐりでございます。市内の文化財に触れ、改めて市内の歴史を学ぶことができたということで参加者同士の交流も図られ、大変好評に終わりまし</p>

	た。参加者は、30名を予定しておりましたが、31名の応募でしたので、バスの方もちょうど乗れる状況でしたので、全員参加といたしました。以上で栗橋公民館の説明とさせていただきます。
清水鷺宮公民館長	鷺宮公民館長の清水と申します。よろしくお願ひいたします。資料の22ページ82番から24ページ98番になります。主に新規事業や特徴のある事業についてご説明をさせていただきたいと思います。まず、22ページの85番、身近な物で草木染めでございます。この事業は、新規事業でございまして、たまねぎの皮でハンカチ等を染める講座でございます。たまねぎの皮という捨てる物でも染色ができるというエコライフを育む講座で、定員を超えて実施した大変好評な講座でございました。続きまして、1番下でございますが、88番、子どもまつりでございます。8月24日に実施しました。鷺宮公民館の子どもを対象とした団体や運営委員等によるいろいろな体験を通して公民館に関心を持ってもらう事業でございます。主に小学生の低学年の子どもたちに好評な事業でございました。続きまして、23ページでございます。90番、鷺宮地区体育祭でございます。この事業も新規事業でございまして、鷺宮温水プールからの移管に伴い、平成26年度から公民館事業ということで、実施したものでございます。台風19号の接近によりまして雨等が心配されておりましたけど、最後まで雨も降らずに競技することができました。初めて公民館で実施したということで、いろいろな方からいろいろなご意見をいただきましたが、大きなかが人もなく無事に体育祭を終了することができたということで、事務局としては良かったと思っております。この体育祭は鷺宮地区の3大イベントのひとつということでありますし、大変やりがいのある事業であったと感じております。続きまして、92番のデジタルカメラ入門教室でございます。この講座も新規事業でございまして、デジタルカメラの使い方、撮り方を学ぶ講座でございます。約50人の応募がありまして、定員の関係から20人を抽選で選考いたしまして、大変好評な事業がありました。以上で説明を終わります。
奥谷中央公民館長	最後に久喜市公民館連絡協議会に関する事業ということで説明させていただきます。なお、冒頭に105事業と申し上げましたが、訂正させていただきます。103事業でございます。各公民館で実施する98事業、それと久喜市公民館連絡協議会が所管する事業、5事業ということで103事業でございます。それでは、本日の追加資料ということでお配りしました資料、こちらをご覧いただきながら説明したいと思います。公民館連絡協議会が所管する事業につきましては、新規事業が1事業、継続事業が2事業、市に企画事業が2事業の計5事業でございます。3番の合併5周年記念事業「久喜市公民館のつどい」でございますけれど、こちらは新規事業ということで8館が連携合同をいたしまして、作品展示あるいは発表などを実施したものでございます。それぞれ公民館で活動している団体のPRと日頃からの公民館活動の認識が高められたという風に考えております。また、市民企画事業につきましては、応募がありました2事業について、採択をして実施したところでございます。市民の方が企画運営をし、市民の方に学習機会の提供を行うことで、事業の実証ができたという風に考えてございます。以上で平成26年度の公民館に係る事業についての説明でございました。
倉持委員長	ありがとうございました。公民館関係について、ご質問等、いかがでしょうか。

後藤委員	奥谷館長の方から全体の利用率が37%とお伺いしたんですけど、25年度に比べてどうなんでしょうか。少し減っていますか。今わからなければ、またあとで結構です。
塩崎委員	共通の質問なんですが、いいですか。稼働率が37%だと例年減っているのだと思うのですが、その中でも一番高いところは何%ぐらいですか。
奥谷中央公民館長	25年度は35.8%です。ちなみに一番高いところですが、中央公民館で53%、低いのは森下公民館で16%です。
斎藤委員	今のご説明の中で、稼働率が低いところで、昼間は、講座が70も80もあって、夜間はものすごく少なくて、時間帯によっては全然利用されていない状況はどうお考えですか。
奥谷中央公民館長	夜間につきましては、空いている状況です。これはやはり、ご利用される方のご都合があるかと思いますので、なかなか、難しいところでございますが、あと高齢者の方の利用率が高い状況でございまして、夜間ですと、1時間、長くなっていますが、利用料金が若干高くなっていますので、大きな原因になるかはわかりませんが今後、検討していかなくてはならない課題かと思います。
後藤委員	3月の会議でも意見を述べさせていただきましたが、利用時間が今は夜10時まで、600円なんです。5時半から10時まで。本当に600円っていうのはちょっと私たちにとっては、高いなと思っております。利用時間を9時までにして、少し安くしていただいた方が利用率が上がるのではないかと思いまして、再提案させていただきます。以上です。
木村孝夫委員	88番なんですが、子どもまつりですが、他の7館は、これに似たような事業もあるようですが、子どもまつりを是非、入れていただければと思います。公民館を20歳までに遊びとか、事業とかで施設を利用しますと、大人になってからも利用が多くなるんですね。今、若い人たちも利用しないと、今後、まちづくりには、若い力が必要になると思いますので、是非、子どもを集めて楽しめる行事を入れていけば、もっと魅力のある公民館になるんじゃないかなと思います。
野口委員	63番、森下公民館の菖蒲地区体育祭なんですが、今年も菖蒲中のグラウンドを使ってやるわけですよね。昨年も感じたんですが、本部席前の競技が多くて、何をやっているのか、説明もないで全然わからないんです。放送も特になくて、できたら、会場の都合もあるかとは思うんですが、真ん中でやるとか、どの地区からも競技が見やすい配置を考えてほしいと思います。
森田森下公民館長	昨年の反省点ということで、放送設備の件は、実行委員会の反省会で出して、それと競技の配置についても今後、実行委員会を通して、修正していくかと思いますのでよろしくお願いします。
丸山委員	事業の報告の中で、新規事業、何事業、継続事業、何事業とかの報告がありますが、資料の中で、星マークなり、わかるようにしてもらえばいいのではないか。
倉持委員長	以前は、二重丸をつけたり、資料作りの中で、工夫をしていただきたいと思います。続きまして、図書館関係の事業説明をお願いいたします。
太田中央図書館長	中央図書館の太田でございます。2年目となりましたのでよろしくお願いします。新規事業として、中央図書館ですが、26ページの9番、ぬ

	<p>いぐるみの図書館お泊まり会です。これは、小さいお子さんが大事にしているぬいぐるみを図書館に持参してもらいまして、ぬいぐるみと一緒にお話しを聞いた後、ぬいぐるみだけお泊まりしていただきまして、閉館の図書館の中をいろいろ探検して回るというもので、その状況を例えば、一冊の開いた状況の絵本などをぬいぐるみたちが熱心に見ている場面をセッティングして写真を撮影しまして、翌日簡単なアルバムにして、ぬいぐるみを受け取りに来たお子さんにアルバムと一緒に渡すという企画でした。非常に好評で今年度も子ども読書週間に併せて、すでに1回実施しております。あともう1回実施する予定でございます。続きまして、27ページ、20番でございます合併5周年記念深沢七郎生誕100周年記念事業であります。これは、特別事業ということで、この事業は長年、深沢七郎と交流のあった方から愛用の品々を含む各種資料を本市に寄贈を受け、そのうちの代表的な54点の資料を展示する記念展を昨年6月15日から8月31日まで開催しまして、1,067人の来館がございました。内訳といたしまして、市内の方が549人、市外の方が466人さらに県外の方が52人ございました。その後、11月からは菖蒲図書館内で、記念展で展示しました年譜等のパネル及び若干の資料を展示しております。続きまして、30ページ、34番になりますが栗橋文化会館図書室ですが、文化財保護課とタイアップしまして、栗橋文化会館に隣接しております吉田家水塚という建物があるんですが、図書館のほうは、昔話を昨年度から開始しております。今後も継続させていただく予定でございます。続きまして、昨年度から実施しております31ページ45番、鷺宮図書館で子ども一日図書館員事業がございます。栗橋文化会館図書室以外の3館で実施済みとなり、今年度、栗橋文化会館図書室でも実施を予定しております。以上でございます。</p>
倉持委員長	引き続き、文化財保護課からもご説明いただけますでしょうか。
堀内文化財保護課長	<p>今年の4月1日に新しく文化財保護課に参りました堀内でございます。よろしくお願ひいたします。昨年度行いました、10事業をご報告させていただいておりますが、そのうちの何点か簡潔にご説明させていただきます。まず、1番、鷺宮催馬楽神楽伝承教室でございます。こちらは市内で唯一、国の重要無形民俗文化財に指定されております貴重な文化財の一つでございます。無形民俗とは、ものを保存していく有形とは異なり、後代へどんどんつないでいかなければいけない作業でございます。昨年度、鷺宮催馬楽神楽に関して、後程お配りいたしますが、簡単な演目なんかの概要を記しましたリーフレットを作成いたしました。今まででは、ちょっと難しいな~と思っているものが、こういったリーフレットを読んで、学習することができますので、好評を博しているものでございます。それから3番、指定文化財「吉田家水塚」運営事業でございます。こちらは、吉田家水塚そのものは、文化財ということで、いじくったり、大勢で入ることが難しい建物でございます。その中に多くの方を呼んで来ていただくために仕掛けをいろいろと考えております。昨年度に試み始めましたが、図書館との共同での昔話での語り聞かせでございます。それから、地元の郷土史研究会と共同で航空写真コーナーの展示内容の展示内容を少し変え、パネル展示に変更して掲載したところでございます。それから、4番、文化財散歩でこちらは新規事業でございます。文化財お散歩マップという手作りマップを作りまして、各地区を歩いてイベント型・参加型の企画を実施してみました。菖蒲で3回、栗橋で2回。今年度は久喜地区と鷺宮地区のマップのコースもおお</p>

	<p>むねできておりますので、全地区で行っていきたいと考えております。文化財散歩につきましては、今年度以降も拡充して、前回26年度は主に大人の方を呼んで平日に回ったということですが、親子で歴史散歩とかというものを地元でやっていくのもいいのかなと個人的には考えております。それから6番、郷土資料館の特別展ということで、昨年度は、菖蒲町小林の地獄田遺跡の遺跡紹介をさせていただきました。今、文化財にはなっておりませんが、縄文時代の遺跡として、非常に村の状況が分かるということで貴重な文化財であると私どもも認識しております。7番の東部地区文化財担当者会巡回展でございますが、こちらは、新規事業でございますが、埼玉県東部地区の各自治体の文化財担当者が集まって勉強会を行っている中で、昨年度、水塚の調査をして、報告書を作成し、併せてパネルも作成しこれを巡回ということで各自治体を回りました。9番の出張講座、学校教育支援事業でございます。こちらも新規事業として、学校現場に学芸員を派遣して、児童生徒に郷土の歴史や文化財を解説させていただきました。主な項目としては、昔の生活道具、鶯宮催馬楽神楽、それから本多静六についてというような指定がありまして解説したところでございます。以上でございます。</p>
金子委員	<p>図書館なんですが、いくつかの町を回っていたときに、図書館の玄関から入って、新聞閲覧コーナーがどこにあるかで雰囲気が変わってくるんですね。これから、夏休みに入るので、子ども等の利用が増えると思うのですが、新聞閲覧コーナーで大人が構えていると、子どもたちがビビる可能性があるので、工夫いただければと感じた次第でございます。</p> <p>それと文化財関係ですが、8番の子ども歴史広場、会場が郷土資料館になっておりますが、結構参加人数が多いので、4地区ございますので、他の地区での実施が可能かお聞きしたいと思います。</p>
堀内文化財保護課長	<p>こちらは、郷土資料館の主催事業でありまして、今のところ、4地区に行くことは考えていないですが、今回のご意見を受けまして、子どもが参加できるイベント企画ですね。この子ども歴史広場以外でも幅広く考えていきたいと思います</p>
金子委員	社会好き、歴史好きな子どもには是非ともお願いしたいと思います。
太田中央図書館長	図書館の宿命なんですが、毎年、何千冊と買って行っていますので、痛んだ本だと落丁、乱丁とか以外は、原則廃棄しないこととなっているのですが、本が満杯になってきておりまして、収蔵する場所がなくなってきたんです。どんどん、本が増えておりますので、書棚を増やしている状況の中で、閲覧場所の配置を考えていくというのは、非常に難しいことですので、ご理解いただきたいと思います
倉持委員長	どうしても、高齢者の男性の方が、新聞を大きく広げて、子どもたちの勉強している机まで占領しちゃっているところもあるので、中々、制限は難しいと思うんですけど、でもやっぱり気になりますよね。検討してください。
丸山委員	教育振興基本計画にある図書館体制としてレファレンスを充実するんだと、言ってますよね。利用者が施設に来ないということを理由にしているのなら、話になりませんよ。
太田中央図書館長	確かにレファレンスに力を入れなくちゃいけないと思っているんですが、今、簡単にスマートフォンで情報が検索出来る時代にあるものですから、図書館で高度の事になりますと、県立図書館では、かなり専門的なことを、分野的に調べることができますので、その守備範囲の違いも

	あるもんですから、当市の図書館として、今後、どうやっていくかを、レファレンスも含めて課題として捉えておりますので、よろしくお願ひします。
倉持委員長	全体を通して、何かござりますでしょうか。
塩崎委員	結局、社会教育の中で、当然のことながら、公民館は、社会教育の拠点であり、図書館も同じように、やはりシニアの層が圧倒的に多い、プログラムを見ても先程、稼働率の件でお話しされましたけど、マンネリ化している気もします。青少年向け、母親、子ども学級的なものが欠如してゐるのかなと感じております。こうなってくると、中々集まらないということなんで計画が組めないことだけど、前回私も提案しました、ここは思い切って、夏休みに開放dayみたいなことで、一回くらいやってみたらどうかと思うんだけど、手伝いに行きますよ。私が講演やりますよ。何か変化を持たせて、青少年教育に重点を置いてもらって、人づくりなりを是非ともこれから社会教育の中で力を入れていくように指導してあげてください。よろしくお願ひします。
川島委員	限られた予算と人の中で、やれることが益々限られております。たくさんある事業の中で、定着した事業については、団体なり、人なりに任せて、移行していく必要があるのではないかと思います。それによって、人なり、予算が浮いてまいりますから、新しい事業にも取り組むことだと思いますのでよろしくお願ひします。
倉持委員長	私もひとつお願ひしたいのが、どうしてもシニア世代を中心の事業で、マンネリ化してきていますけど、失敗してもいいから子育て世代から始まって、幼稚園、小学生の親子世代までは結構、公民館ではやるんですけど、今度、もう少し上の中・高校生、いわゆる青年といわれる世代、ちょっと冒険かもしれないけど、そろそろやっていかないと、こういう人たちが、子育て世代から始まってくれれば、いずれ公民館や図書館に親しみを覚えてくる。ここで思い切って、私もやってみる価値があるのかなと思っております。そういう意味で、あまり失敗を恐れずに、次の世代に向けた事業を取り組んでいくのが大切ではないんだろうかと思っておりますので、これまでにあった意見を是非、27年度に生かしていただきたいし、公民館、図書館それぞれの立場で、また生涯学習課の立場で、取り組んでいただきたいなと思います。それではこの辺で議事を閉じさせていただきます。ご協力ありがとうございました。
司会 堤生涯学習係長	<p>< その他 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 27 年度第 1 回社会教育 3 団体合同研修会報告書について <金子委員（生涯学習推進部委員長）より説明> ・平成 27 年度埼玉県市町村社会教育委員連絡協議会総会、研修会について <朝武生涯学習課課長補佐より説明 >

後藤副委員長

< 閉会の言葉 >

会議のてん末・概要に相違ないことを証明するためここに署名する。

平成27年8月3日

委員長 倉持良幸